

河川事業の再評価概要書

番 号

2

事業主体

宇 都 宮 市

() は、当初計画時

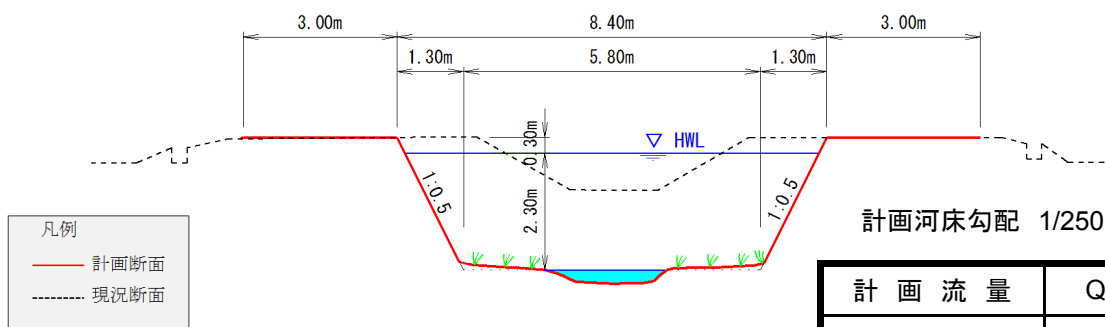
事業名	準用河川整備事業 <small>じゅんようがせんせいびじぎょう</small>		事業所管課	宇都宮市 建設部河川課	
路線・河川名	準用河川 西川田川 <small>じゅんようがせん にしかわだがわ</small>		事業箇所名	宇都宮市 西川田町 <small>じゅんようがせん にしかわだまち</small>	
事業区間	宇都宮市針ヶ谷町地先 <small>うつのみやしはりがやちよう</small> ～西川田町地先 <small>にしかわだまち</small>		事業延長	2,980m	
平成 16 年度事業化			平成 16 年度工事着手		
事業期間	H16 年度 ～ H36 年度		事業 進 捗 状 況	基準年次：【平成 25 年度末時点】	
[うち用地補償費] 全体事業費	[- 億円] 12.2 億円			[うち用地補償費] 既投資事業費	[- 億円] 4.6 億円
事業概要					
<p>西川田川は、宇都宮市の南西部に位置し、市の西部の八千代 2 丁目に源を發し、市南西部の水田地帯の用排水路として利用され、下野市にて一級河川新川に合流する準用河川である。</p> <p>西川田川の事業区間は、河川断面が狭小で流下能力が不足していることから、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が発生している。</p> <p>このため、河川断面の拡大を図り、氾濫を防止し浸水被害の解消を図る。</p>					
事業を巡る社会経済情勢等の変化					
特になし					
事業の投資効果					
1 費用対効果分析結果					
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】		
(1) 事業全体	B/C=1.6	19.1 億円	12.2 億円	[L=2,980m 区間]	
(2) 残事業	B/C=2.2	13.2 億円	6.1 億円	[L=1,808m 区間]	
2 事業の整備効果等					
整備を図ることにより、宅地や農地の浸水被害が解消される。					
事業の進捗状況等					
1 事業の進捗状況					
事業延長 2,980m のうち、下流下野市境の市道橋から <small>やすづかずめのみやせん</small> 県道安塚 雀 宮 線下流の取水堰まで 1,172m 区間の整備が完了している。					
2 今後の事業進捗の見込み					
平成 36 年度事業完了を目標に、引続き河川整備を進める。					
コスト縮減等					
1 コスト縮減方策					
工事で発生した残土を他事業に流用し、工事費の縮減に努める。					
2 代替案立案等の可能性					
残区間の整備については、実現性及びコスト等において、現河道の改修に優る代替案がないため、現計画が妥当である。					
事業の対応方針 (案)		現計画で事業を継続する。			

事業箇所(位置図、概要図)

位置図



計画断面図



概要図

